



2021年1月25日

各 位

株 式 会 社 C A I C A
代表取締役社長 鈴木 伸
(JASDAQ: 2315)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

「第32期定時株主総会 事前説明資料」に関するお知らせ

当社は、2021年1月28日開催予定の定時株主総会の事前説明資料として、別紙の「第32期定時株主総会 事前説明資料」を開示することといたしました。

記

別紙

「第32期定時株主総会 事前説明資料」

以 上

第32期定時株主総会 事前説明資料

2021年1月25日



1. 連結決算サマリー

- ・ 財務状況
- ・ 2020年10月期業績(セグメント別)
- ・ 2020年10月期末業績及び2021年10月期通期業績予想

2. 議案について

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 第1号議案 | 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 株式併合の件 |
| 第3号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第4号議案 | 取締役8名選任の件 |
| 第5号議案 | ストックオプションとして新株予約権を発行する件 |

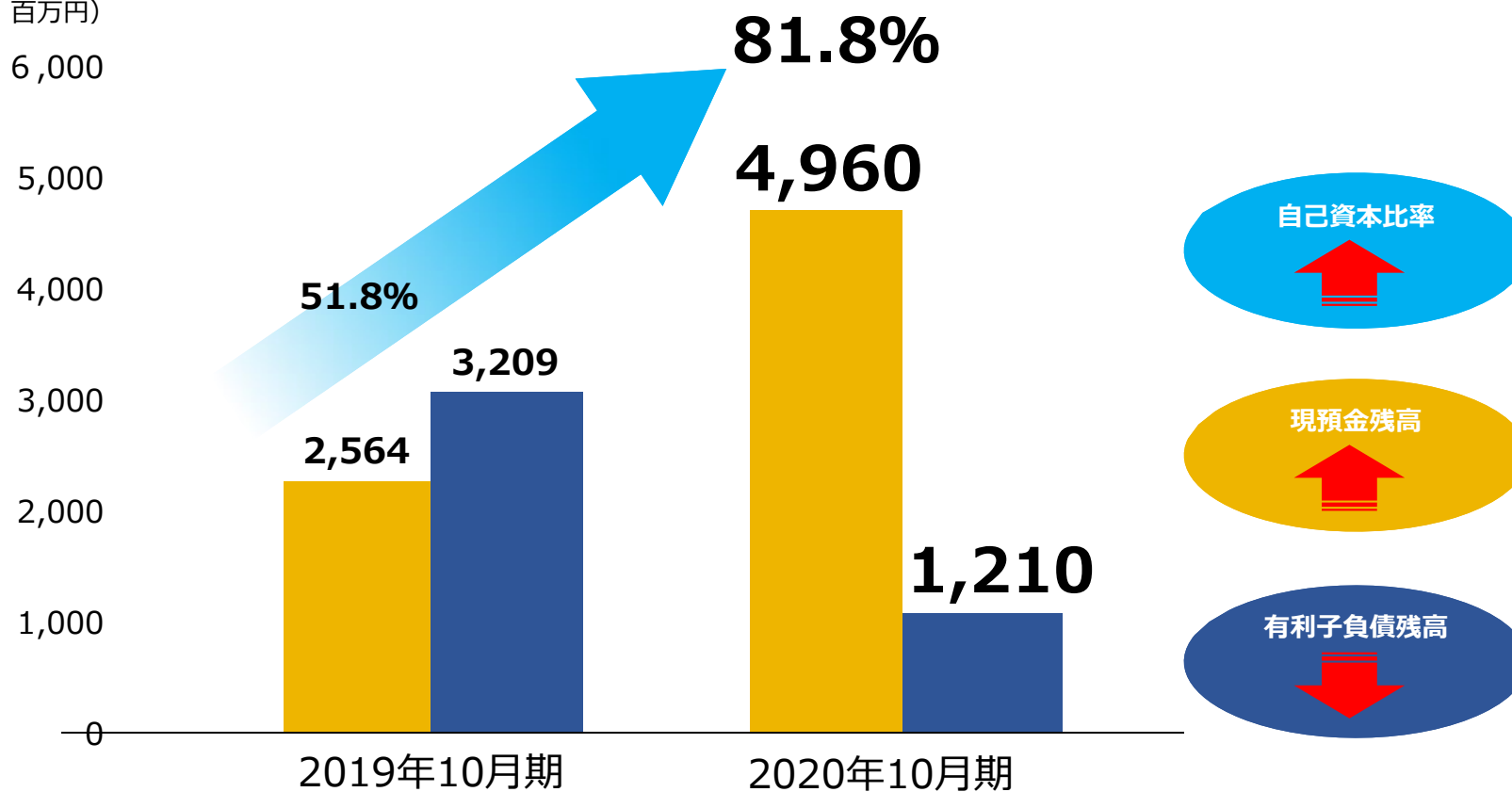
3. 2021年度の取り組み

4. 中期経営計画

5. 議決権行使のお願い

新型コロナウイルスによる金融市場の混乱およびその後の経済への影響に備え、十分な手元流動性を確保するため、クシム株式を売却。ライツ・オフリングによる現預金の積み上げ並びに有利子負債の圧縮の結果、財務状況は大幅に改善

(単位：百万円)



連結決算サマリー 2020年10月期業績(セグメント別)

(単位：百万円)

	情報サービス		暗号資産関連		金融商品取引		HRテクノロジー		調整額		連結	
	19/期末	20/期末	19/期末	20/期末	19/期末	20/期末	19/期末	20/期末	19/期末	20/期末	19/期末	20/期末
売上高 (外部顧客への)	6,632	4,696	8	308	457	155	501	842	—	—	7,600	6,003
売上高 又は振替高 (セグメント間の内部)	635	155	3	1	—	—	15	39	▲654	▲195	—	—
売上高計	7,267	4,852	12	310	457	155	517	881	▲654	▲195	7,600	6,003
セグメント 利益 又は損失	81	177	▲310	▲125	▲266	▲426	▲46	▲18	▲73	▲287	▲615	▲679
	ネクス・ソリューションズの連結除外で売上減も利益増		Zaifからの案件受注が拡大し、売上増、赤字縮小		コロナ禍の株式市場急変に伴い、想定を超える商品価格の変動によりトレーディング収益が悪化		売却したものの、前年度比向上					

連結決算サマリー 2020年10月期末業績及び2021年10月期通期業績予想

(単位：百万円)

	2020年10月期 期末	2021年10月期 通期業績予想	増減額
売上高	6,003	6,536	↑ +533
営業損益	▲679	311	↑ +990
経常損益	▲903	204	↑ +1,107
親会社株主に帰属する 当期純損益	▲557	147	↑ +704
・IT金融企業としての土台が完成し、黒字転換化 ・ITサービスはブロックチェーン・セキュリティ関連の自社ソリューション拡販 ・金融サービスは暗号資産関連商品の開発・販売に注力			

第1号議案

資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金処分の件

- 当社の繰越利益剰余金の欠損を補填し更なる財務体質の健全化を図り、効率的な経営を推進

第2号議案

株式併合の件

- 当社の株価は、1円当たりの株価変動率が相対的に大きく、投機的対象として株価の乱高下が生じやすい状況
- 東京証券取引所が明示する望ましい投資単位である5万円以上50万円未満という水準により近づけるため、10株を1株に株式併合することにより、当社株式の投資単位を当社の規模に見合った適切な水準に調整

第3号議案

定款一部変更の件

- 当社の定款第2条（目的）に記載される仮想通貨の名称が、法改正に伴い暗号資産に変更されたことによる所要の変更
- テレワークを推進し、小規模なオフィスへ移転したことから、定款第3条（本店所在地）の所要の変更
- 第2号議案「株式併合の件」が原案どおりに承認可決され、その効力が生ずることを条件として定款第5条（発行可能株式総数）の所要の変更

第4号議案

取締役8名選任の件

- 本総会の終結の時をもって、取締役全員（9名）は任期満了
- 八木 隆二、幾石 純は当社取締役を退任予定
- 新任取締役候補者として、税理士としての豊富な専門知識と経験を有する池田祐作氏を社外取締役候補者として選任
- 重任取締役候補者は、鈴木 伸、山口 健治、佐藤 元紀、中川 博貴、伊藤 大介、川崎 光雄、島村 和也の7名

第5号議案

ストックオプションとして新株予約権を発行する件

- 会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づき、当社及び当社子会社の取締役並びに当社及び当社子会社の従業員に対し、特に有利な条件によりストックオプションとして新株予約権を割り当てること及び当該新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することにつき承認を求めるもの
- 当社取締役に対する新株予約権付与は、会社法第361条の報酬等に該当するため、当社取締役に対するストックオプションとしての新株予約権に関する報酬等の額及び具体的な内容につき、併せて承認を求めるもの
- 当社の連結業績向上に対する貢献意欲や士気を一層高めるとともに、企業価値の向上を目指した経営を一層推進することを目的とし、当社及び当社子会社の取締役並びに当社及び当社子会社の従業員に対して新株予約権を発行するもの

ITサービス事業

☑ 自社製品の販売を強化

ソリューション型商品の比率を上げる
CAICAブランドの認知度を上げる

- セキュリティコンサルティングサービス
- crypto base C



DX

☑ 既存事業は引き続き収益確保に努める

- 一次請け比率の向上

金融サービス事業

☑ 暗号資産関連商品の販売強化による売上拡大

- 暗号資産CFDのサービス開始
- 暗号資産ファンド、アートファンドへの出資を通じて新たなノウハウを吸収し、ファンドビジネス開始
- 新商品ミニスプレッド型・ミニレンジ型eワラントの取扱を開始し、株式会社SBIネオモバイル証券に提供を開始





活況な暗号資産市場を背景に Z a i f とのシナジー追及

Z a i f グループとの連携強化を通じて
事業を拡大

シナジー効果を最大化させるため、人的
交流および資金協力を含め関係性を強化

- ・ 暗号資産交換所システムの新機能共同開発
- ・ 暗号資産に関連した新商品の共同商品開発
- ・ 40万口座の顧客基盤を活用したマーケティング
- ・ Z a i f ブランドを活用した新規取引先開拓
- ・ 高度なサイバーセキュリティの運用ノウハウを
当社サービスへ展開
- ・ 暗号資産交換所システム (crypto base C) の販売
- ・ サイバーセキュリティ分野のサービス強化

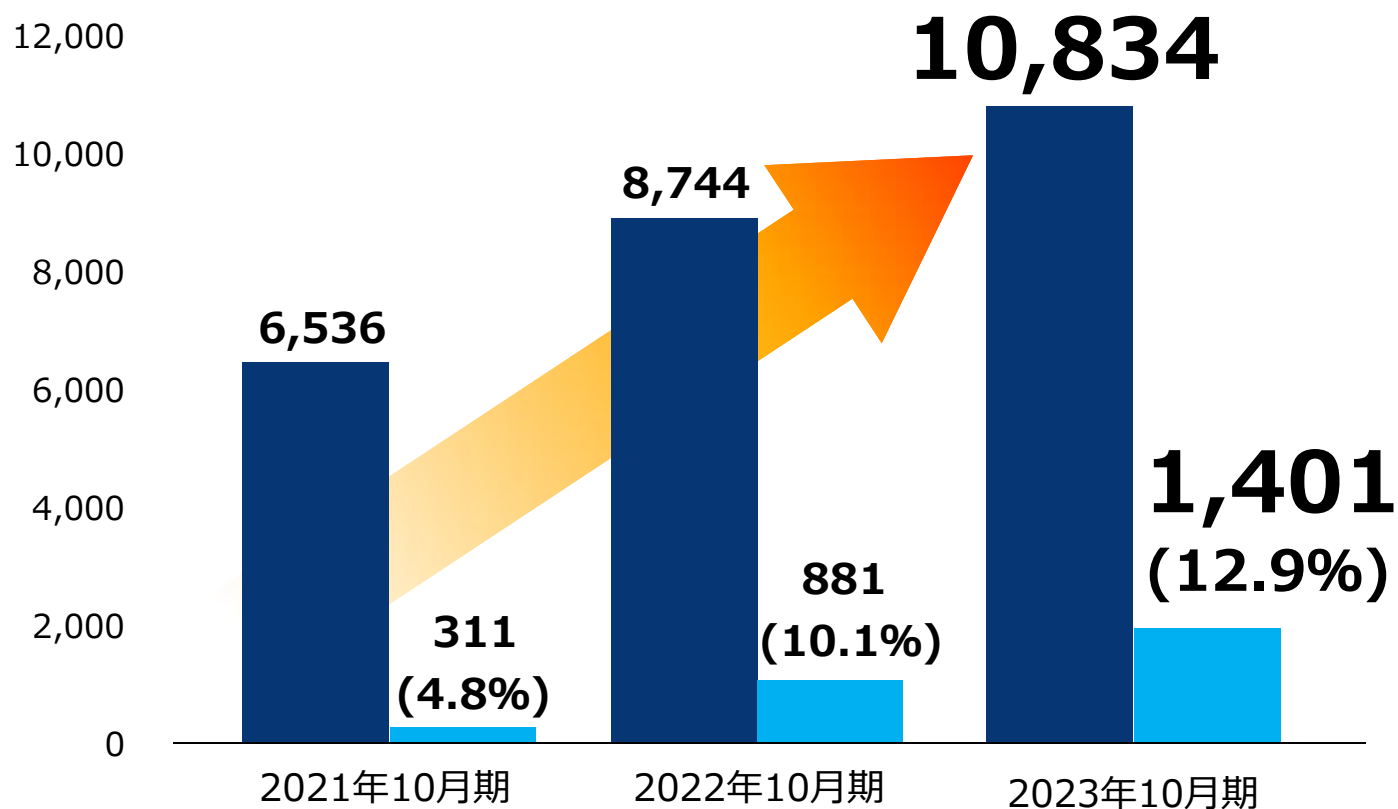
- ・ 金融システム構築に関する豊富な実績
- ・ サイバーセキュリティやクラウド技術
- ・ 第一種金融商品取引業
- ・ 金融商品組成のノウハウ
- ・ フィンテック・デジタル化に関する知見



- ・ 暗号資産交換業者登録
- ・ 40万口座の顧客基盤
- ・ Z a i f の高い知名度
- ・ 暗号資産に関するノウハウ

2023年10月期、売上108億円、営業利益14億円、営業利益率12.9%を達成します

(単位：百万円)



議決権行使のお願い

議決権は、株主の皆様が当社の経営にご参加いただくための大切な権利です。議決権の行使方法は、以下の方法がございます。株主総会招集通知をご参照にうえ、ご行使いただきますようお願い申し上げます。

株主総会への出席

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言発令に伴い、適切な感染防止対策をとった上で開催させていただきますが、株主の皆様におかれましては、感染拡大防止の観点ならびに安全を第一優先として頂き、**可能な限り事前に議決権行使**を頂きますようお願いいたします。

開催日時

2021年1月28日(木) 午後1時

議決権行使書をご持参頂き、会場受付にご提出ください。

行使方法

書面によるご行使

議決権行使書用紙に、各議案に対する賛否をご記入頂きご返送ください。

スマート行使によるご行使

議決権行使書用紙の右下のQRコードを読み取ります。
(詳細は招集通知ご参照)

インターネットによるご行使

議決権行使ウェブサイトより、各議案に対する賛否をご登録ください。
(詳細は招集通知ご参照)

行使期限

**2021年1月27日(水)
午後5時45分到着分迄**

**2021年1月27日(水)
午後5時45分迄**

**2021年1月27日(水)
午後5時45分迄**

※当資料は弊社ホームページにて掲載いたします。

<https://www.caica.jp/>

